

日本地域経済学会

地域公開シンポジウム

(共催：北海学園大学開発研究所、一般社団法人札幌観光協会)

少子高齢人口減少下における 札幌市の再開発・経済再生とその可能性

人口規模で日本最大の地方中枢都市である札幌市はいよいよ人口減少社会に突入する。他方、オリンピック・パラリンピックの招致については現在慎重な対応を迫られているが、2030年頃に向けて新幹線駅の建設計画や都市中心部の再開発が進められ、またコロナ・パンニックが収束するなかで観光再開発やスタートアップ支援対策などの経済再生対策の動きが強まっている。

本シンポジウムでは、転換期を迎える札幌市の人口動態分析を踏まえつつ、札幌市の再開発・経済再生の動向の確認とその可能性について議論したい。そして、この議論を通じて、札幌は北海道の人口ダムなのか、札幌一極集中から見られる北海道の実像や課題についても考えていきたい。

日時：2023年11月11日（土）13：00～16：20

会場：北海学園大学（AV4教室） 札幌地下鉄東豊線学園前駅

参加：無料 11月4日までに下部に示す参加登録フォームにアクセスし登録をお願いします。

ファシリテーター：高原 一隆

（北海学園大学 名誉教授、開発研究所 特別研究員）

<パネラー>

丸山 洋平（札幌市立大学 准教授）

札幌市をめぐる人口移動と地域変容

伊藤 諒（札幌市スタートアップ推進担当係長）

北海道のスタートアップ支援戦略について

本宿 圭太（一般社団法人 札幌観光協会）

札幌観光の過去・現在・未来

白鳥 健志（元札幌駅前通まちづくり株式会社代表取締役社長）

札幌のこれからのまちづくりのあり方～札幌の再開発等に期待するものは何か～



参加登録フォームのURLとQRコード
<https://forms.gle/SA2RmayN5Fp32Cgf7>



問い合わせ：北海学園大学開発研究所

札幌市豊平区旭町4-1-40

電話：011-841-1161（代表）

担当：濱田 武士（所長）